



小児科医
二本垣 まち子 さん

特集

新春 対談

先駆者たちの 思いとまなざし

久しぶりの再会

岩井さんと二本垣さんが最後に会ったのは、去年の黒部愛児保育園の修了式でした。医院を閉める2日前、忙しい時間を工面しての訪問。子どもたちと保護者全員で「二本垣先生、ありがとうございます！と大きな声で挨拶したのが最後でした。

岩井さんは、この日を振り返り「先生には黒部愛児保育園の園医になつていただいていたから、30年余り本当にお世話になりつばなしで、いくらお礼を言っても足りないくらい助けていただきました」と話されます。二本垣さんは平成28年3月まで約45年間、黒部市の小児科開業医として、たくさん子どもたちの健康と母親の育児を支えてこられました。閉院後の現在は京都府宇治市へ引越され静かに過ごしておられます。

二本垣まち子氏(以下、敬称略)今回、市社会福祉協議会の広報誌で私

いて考えます。

お二人の対談から、原点となる

思いをお聞きし黒部の福祉につ

いて考えます。

黒部の子どもたちとその家族を

支えておられる、あいじ福祉会

理事長岩井恵澄さんと、黒部の

小児科医として45年間ご活躍さ

れた二本垣まち子さん。大先輩

と岩井さんのお話を載せたいと

連絡がありまして、久しぶりにお

会いできるのを楽しみにしてい

ました。

岩井恵澄氏(以下、敬称略) 私

も同じです。あの日はちゃんとお

礼もお話もできず、今日、お会い

できることがうれしくて宇治

まで来ました。

二本垣 いつも読ん

でいます。市報と一

緒に私のところに

届いていますから。

岩井 その広報誌

に私たちがどんな

お話をしたらいい

のか。社協からは

「福祉とは」とい

う大きなテーマも

いただいています



あいじ福祉会理事長
岩井 恵澄 さん

届いていますから。

二本垣 いつも読ん

でいます。市報と一

緒に私のところに

届いていますから。

岩井 その広報誌

に私たちがどんな

お話をしたらいい

のか。社協からは

「福祉とは」とい

う大きなテーマも

いただいています

上手にお話しでき

るかどうにか…。

広がる福祉

岩井「福祉」って
いうと、高齢者や
障がい者などに對
して公的扶助や
サービスをするこ
となど、限定的に

考えがちですが、近頃は児童福祉とか地域福祉、医療福祉など広い意味の福祉が問われていると思います。昔は「こりやく」するとか、「え(会)」するという言葉がありましたね。近所さんや知人が田植えや稲刈り、お祭りとか法事など行事のときに、子ども連れで参加し、子ども同士群れて遊び、大人も相互に交流し合う貴重な場があったことを思い出します。このような日常が今言われる地域福祉の姿の一部かと思えます。でも今は生活のあり方が変わってしまい、近所づきあいは「回覧板」という文字言語でつながり、「当番」という義務で流れているように感じます。抵抗できない大きな流れの中で、子どもたちの幸せ(福祉)を考え、親の就労支援を考えると、環境が整っている保育の場と病児を預かる医療の場が絶対大切です。児童福祉と医療福祉の充実が子育て世代に幸せな日々をつむいでくれることになると思

子と親を支える

二本垣 岩井さんは40年前から0歳児からの保育をやっておられ、その頃、乳児保育を実施している施設はなかったんですね。とても感銘を受けたのを覚えています。



懐かしい話に話題がつきませんでした

働くお母さんの環境も厳しかったし、1年の育児制度も整っていない時代でした。産休6週間が終わったらすぐに仕事に復帰するという現状でしたから。岩井 ほんとですね。最近、一億総活躍とか明るい声が増えてきましたが、先生は40年前から女性も安心して働くために、医療の現場から、かわいい子どもたちを守ってくださっていたんです。産婦人科医であつたご主人の願いを重ねながらの思いとも伺いました。働く母親にとって先生は「慈母観音様」。拝みたい存在でしたね。「助けてもらった」という声をよく聞きます。



活動レポート

みまもり交流会を開催
見守り活動の協力者が
情報交換をしました

11月25日(金)荻生の館で「荻生地区みまもり交流会」が開催されました。ひとり暮らし高齢者などの見守り活動をしているみまもり員やケアネットチーム員、民生委員児童委員が集まり日頃の活動状況について情報交換を行いました。今年で2回目です。

はじめに、荻生地区の社会福祉協議会及び民生委員児童委員協議会の大辻菊美会長が、地区別の人口や高齢化率、独居世帯数などの現状を説明した後、グループに分かれて見守り活動の効果や悩みなどを話し合い交流を深めました。



地区社会福祉協議会の浦田副会長が総括しました



大辻会長が荻生地区の現状を報告しました



真剣な表情で報告を聞いていました



昼食をとりながら情報共有をしました



説明する東部地域包括支援センター
浜松班長補佐



子どもと保護者からのメッセージ

二本垣 小児っていうのは一晩で致命的になることもあり、わずかな数の中には見過ごしてはいけないう重篤な病気があります。当時は市民病院に救急が無かったですから、重篤な子どもがいたら富山中央病院まで一緒に行ったりすることもありました。私も働いていたから母親の気持ちはよく分かるんです。やっぱり子どもが熱を出したりしたら心配でしょう。だから少しでもそれを取り除いてあげることができればと思っていました。岩井 先生は、子どもはもちろんですけど常に親の気持ちを考えられておられました。病児を抱いて不安なお母さんの立場に寄り添い「熱下がったけ？」とわざわざお見舞いの電話をされたり、夜中や休日など、昼夜を問わず診てくださったとか。今日お持ちした保護者からのメッセージの中にも「二本垣先生のおかげで仕事をしながら子育てができた」「母と子二世代にわたりお世話になった」と感謝が詰まっています。



じっくりと読まれていました

病児保育室「こぼと」

岩井 時代とともにお母さんたちもフルタイムで働くようになってきて、子どもが1日か2日熱が出るとその度にお母さんたちは休まなきゃいけない。そのことを亡きご主人と共に案じておられたらしく、私を呼んで「病児保育を立ち上げたい。お金は私が用意するから、子どもたちが安心してここで癒されるように設計し準備してほしい」と頼まれましたね。二本垣 何年も前からどうにかしたいと思っていました。薬局だったところを改修し衛生面に配慮した部屋もつくって、まあいい、こうしたらいいと二人で考えましたね。とは言ってもほとんど岩井さんにお任せしています。それが、そうして平成14年に黒部市に初めての病児保育室「こぼと」をスタートしたので。

実りの長期計画

岩井 あいじ福祉会のシンボルマークは、地球上にはばたく社会人になるように、そして足を大地につけてしっかりと立って生きてほしい、という願いを込めたものです。私もいい歳になりますけど、二本垣先生の思いを引き継ぎながら保育を通して「子どもの声が聞こえる明るいまち」黒部市次世代育成支援行動計画より「福祉のまち」を実現していきたいです。今すぐの事を求めるのではなく、20年30年と先の事を願って「一人ひとりの生涯にわたる幸に寄与すること」を、児童福祉施設である保育園の使命として実践し続けたいと思っています。このことは園医であった先生の思いと全く同じです。先に話しましたが、保育園の子どもたちと保護者に「二本垣先生に会いに行く」と言ったら、こんなにもたくさんの方々が集まりました。先生が黒部市を離れて私たちが寂しくなりましたが、皆さんの「ありがとう」の心はずっとつながっています。二本垣 本当にうれしいですね。子どもたちの顔が浮かびます。岩井さんは、まだまだ若いから、これからもチャレンジして頑張ってください。



二本垣さんが移り住んだ京都府宇治市での2時間にわたる対談。福祉の大先輩の話は尽きませんでした。制度にない地域課題の解決に取り組み、時に力を合わせ突破してきたお二人。穏やかな優しいさの中に、強く秘めた福祉の原点を感じました。共通の思いを持ちながら長い目で進めてきた実りの長期計画。岩井さんが最後に話された「福祉というのは見えない心の幸せ、心の世界。世の中は急激に変化しても人間の心根は変わらない」という言葉がとても印象的でした。この対談を通してこれからの地域福祉を考えていくにあたり、とても大切な視点を再確認することができました。

今月の相談日

民生委員児童委員と心配ごと相談 予約不要
 行政相談員と**行政相談**
黒部市福祉センター 1月10日(火) 13:30~15:30
 (金屋464-1)
黒部市立中央公民館 1月12日(木) 13:30~15:30
 (宇奈月町浦山2100-2)

弁護士と法律相談 予約受付1月4日より
黒部市福祉センター 1月17日(火) 13:30~15:30
 ※お一人につき同じ相談内容の場合は
 3回までとさせていただきます。

富山県東部生活自立支援センター
生活自立支援相談 予約受付1月4日より
黒部市福祉センター 1月16日(月)10:00~11:30



黒部市福祉センターは、 皆さまに愛されて今年40周年をむかえます

市民のふれあいの場として、赤ちゃんからご年配の方までどなたでも利用できる施設です。ぜひ、お気軽にお越しください。

【時 間】 8:30~16:30 (入浴時間は10:00~16:00です)

【料 金】	高齢者(60歳以上)	300円	大広間	10,000円
	一般	400円	和室(25畳)2間	2,000円
	心身障がい者	300円	研修室	4,000円
	小学生	100円	相談室	1,000円
	幼児	無料		

【休館日】 毎週月曜日と祝日の次の日
(正月お盆のお休みは福祉くろべをご覧ください)



☆入館回数券は11枚綴り3,000円です。
 ☆福祉センターへの無料送迎バスを運行しています。
 ☆駐車場や駐輪場も完備しています。

各種お問い合わせは、黒部市福祉センター受付 TEL.0765-54-1082まで

催し物と休館日のご案内

黒部市福祉センター 利用時間/ 8:30~16:30

1月の催し物

- 14日(土) 日本海歌謡研究会歌と踊りの祭典 10:30~
- 28日(土) 歌謡パラダイスふれあいショー 10:30~

休館日 毎週月曜日(9日・16日・23日・30日)

年末年始のお休み...12月30日~1月3日まで

2月の催し物

- 11日(土) 日本海歌謡研究会歌と踊りの祭典 10:30~
- 18日(土) あおいバラサークル 10:30~
- 19日(日) こぶしカラオケ愛好会 10:30~
- 25日(土) カラオケうた仲間 10:30~
- 26日(日) はまなすカラオケ&踊り 10:30~
- 28日(火) 黒部市老連カラオケサークル 10:30~

休館日 毎週月曜日(6日・13日・20日・27日)・12日(日)

今月のクラブ

囲碁・将棋クラブ
 金曜日(6日・13日・20日・27日)

元気カラオケクラブ
 木曜日(5日・12日・19日・26日)

今月の湯

入浴時間 10:00~16:00

- 1月 4日(水)~ 8日(日) お花畑のお風呂
- 1月10日(火)~15日(日) アルカリ泉の湯
- 1月17日(火)~22日(日) 酵素のお風呂
- 1月24日(火)~31日(火) ココナッツオイルのお風呂

誕生日のお祝い

センターの入浴券はいかがですか?

11枚綴り 3,000円

町内の会合や趣味の集まりに、黒部市福祉センターをご利用ください

大布施地区で 三世代交流を楽しみました



12月3日(土) - 大布施公民館

子どもから高齢者まで幅広い世代が集い、チューリップの球根を植えたり、ゲームやスポーツ、もちつきなどで交流を深めました。

共同募金70年特別感謝状を 贈呈しました



11月8日(火) - 生地小学校

市内全ての小中学校へ「共同募金運動70年記念富山県共同募金会会長特別感謝状」の贈呈を行いました。

ふくし スマイル ワーカー

スマイル
Vol.37

宇奈月グループホーム
いわずちわの里 主任 介護福祉士

川上 智子さん(48)



Q.どのような施設ですか?

A.グループホームでは、認知症の方が少人数で共に暮らしながら、家庭的でゆったりとした雰囲気の中、スタッフと一緒に食事の支度や掃除、洗濯などをして生活に必要な能力を引き出し、病状の改善や進行の防止を図ります。

Q.宇奈月グループホームの特徴は?

A.利用者さんと地域の方々との交流を大切にするため、地元のスーパーへ週3回出かけ、知り合いとの会話を楽しんでいます。温かい「なじみの関係」を通し認知症の理解が広がるよう、地域密着の施設として積極的に地域や学校の行事へ出向いています。

Q.仕事をしていて良かったことは?

A.利用者の方の「ありがとう」の言葉に励まされたときです。宇奈月福祉会の理念の中の「地域と共にあなたと共に笑顔の花を咲かせます」のように、笑顔の花を咲かせられる介護職はすごく良い仕事なんだよってことを周りの人にわかってもらえたらいいなと思っています。

イベントpick up!

高齢者の元気づくり事業

ルディックウォーキングで 楽しく運動しよう!

第4回(※全6回の予定)

ポールを持って歩く、誰でも簡単にできるウォーキングです。寒さに負けず、楽しく運動しませんか?

平成29年1月24日(火)

[開催時間] 13:30~15:00

[集合場所] 黒部市福祉センター

[持ち物] 内履きズック、外履きズック、飲み物、タオル
ポール(持っておられる方)

[講師] 黒部市社会福祉協議会 運動指導員
小森亜希子

[募集人数] 10名程度

[対象年齢] 65歳以上の方

[参加費] 300円

お申し込み・お問い合わせは

黒部市福祉センター受付 TEL.0765-54-1082



地域福祉の ために

黒部市社会福祉協議会に
寄付をいただきました。
ありがとうございました。

- シェアフィールドひまわり保護者会 様
- 黒部市茶道連盟 様



特集 先駆者たちの思いとまなざし

地域の今を届ける密着レポート/見守り活動の協力者が情報交換をしました
写真レポート/大布施地区で三世代交流を楽しみました
連載/ふくしスマイル・ワーカー
etc.

📅 今月の表紙 南天の実— 難を転じて福となす縁起木です

この広報紙は一部共同募金の助成金により発行されています。

うなづき

[場所] 黒部市宇奈月老人福祉センター

介護予防通所事業 生き生き倶楽部

時間/9:30~15:00
参加無料!
対象/65歳以上の方



日	月	火	水	木	金	土
1 元旦	2	3	4	5 季節行事	6 季節行事	7
8	9 成人の日	10 季節行事	11 季節行事	12 レク体操	13 レク体操	14
15	16 自力整体	17 自力整体	18	19 自力整体	20 自力整体	21
22	23 健康体操A	24 健康体操B	25	26 健康体操A	27 自力整体	28
29	30 レクリエーション	31 レクリエーション	2/1	2 レクリエーション	3 レクリエーション	4

時間/10:00~
健康体操A … 石田みどり先生
健康体操B … 村田あゆみ先生
自力整体 … 稲田 清美先生
レク体操 … 炭田 亮子先生



入浴時のヒートショックを防ぎましょう!

冬場は、寒暖差のある場所への移動等により、急激な温度変化で身体に影響を与えるヒートショックを起こしやすいです。

〈入浴時の注意点〉

- ① 脱衣室や浴室をあらかじめ暖めておく
- ② 入浴前の水分補給
- ③ 熱いお湯にいきなり入らない



お問合せは生き生き倶楽部の
担当:山内まで TEL.(0765)65-1820

福祉・ボランティアに関することは

黒部市社会福祉協議会

<http://www.kurobesw.com/>

● 本所 黒部市福祉センター内
〒938-0022 黒部市金屋464-1
TEL.(0765)54-1082(代表) FAX.(0765)52-2797
TEL.(0765)57-1089(ケアセンター・ホームヘルプセンター)
Eメール kurobesw@ma.mrr.jp

● 宇奈月支所(東部包括) 黒部市宇奈月老人福祉センター内
〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山2111
TEL.(0765)65-1165 FAX.(0765)65-9533
Eメール tobu-houkatsu@kurobesw.jp

くろべ

[場所] 黒部市福祉センター

介護予防のための 元気はつらつ体操教室

時間/10:00~11:00
参加費/300円(入館料のみ)
対象/65歳以上の方



日	月	火	水	木	金	土
1 元旦	2	3	4	5 健康体操A	6 健康体操A	7
8	9 成人の日	10 健康体操B	11 健康体操B	12 体操	13 自力整体	14
15	16	17 体操	18 体操	19 健康体操B	20 体操	21
22	23	24 健康体操A	25 自力整体	26 自力整体	27 健康体操B	28
29	30	31 自力整体	2/1 ストレッチ	2 ストレッチ	3 ストレッチ	4

時間/10:00~
健康体操A … 樋口 瞬先生
健康体操B … 炭田 亮子先生
自力整体 … 稲田 清美先生
ストレッチ … 仁科 在重先生
体操 … 小森亜希子先生

編集後記

今年初めの特集は、企画から1年近くかけて実現した、尊敬する女性お2人の対談でした。社会制度が整っていない頃から高い志を持って活躍された岩井さんと二本垣さんは、かつてよくてかわいらしくて、キラキラ輝いていました。「福祉くろべ」は、本年も地域で輝く人や活動にスポットを当てご紹介していきます。

編集 中野



[黒部市の人口] 41,818人 [65歳以上の人口] 12,501人 高齢化率 29.9%
H28.11.30 現在